



### よりたくさんのお本を手にとることができるよう、リニューアルしました。

エントランスホールと北方資料室入口前を一部リニューアルしました。

1階には、「えほんコーナー」と「読書案内コーナー」、2階には「子どもの本コーナー」が設置されました。さらに北方資料室入口前には「北方資料コーナー」が設置され、利用される方が手に取って見ることができる児童書、文学の北方資料が増えました。

## 目 次

200号記念寄稿 ～旧職員からの手紙～「道立図書館の思い出など」	1
事業報告	
平成27年度図書館地区別（北日本）研修	2
平成27年度全道図書館中堅職員研修会	4
平成27年度全道図書館専門研修	5
市町村図書館職員レファレンス体験研修	6
利用者向け講座	7
展示を振り返って	10
平成27年度北海道立図書館協議会	13
道内図書館紹介	
「仮設運営11年間の後、待望の新館オープン 新ひだか町図書館」（新ひだか町）	14
「公民館図書室から生涯学習センターぽろろ図書室に」（南幌町）	16
平成28年度事業計画	18
平成27年度全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰	19
掲示板	20

今号は第200号という節目にあたり、また、北海道立図書館は今年、90周年を迎えます。これまでの道立図書館を作り上げてきた職員の中から、39年の長きにわたり、司書業務にあたりました佐々木裕道氏から寄稿をいただきました。

【著者紹介】

佐々木 裕道 氏

昭和48 道立図書館採用 北方資料室北方資料係司書

昭和60 道立文書館主任

63 札幌医科大学附属図書館運用係長

平成 4 同整理係長

15 道立図書館業務部市町村支援課長

16 同北方資料部収集保存課長

19 同北方資料部長

22 同奉仕部奉仕課主任（再任用）

23 同利用サービス部利用サービス課主任（再任用）

24 退職

～旧職員からの手紙～ 「道立図書館の思い出など」

佐々木 裕道

皆さん元気に業務に励んでいますか。早いもので、道立図書館を離れて5年が過ぎました。

昭和48年に道立図書館に採用されてから、翌年7月には、大学図書館に異動し、28年ぶりに再び道立図書館で仕事をする事になり、最初に配置された部署は市町村支援課<sup>1</sup>でした。ほとんど市町村の図書館のことを知らない私にとって、未知との遭遇でした。ここで移動図書館車に乗ったり、読書グループやブックスタート等の情報に接して、道立図書館の第二線図書館<sup>2</sup>としての役割を体感することが出来ました。

そこで悪戦苦闘しながら、次は北方資料室に配置替え。ここは採用時に仕事をしたところですが、わずか2年足らずで外に出ましたので、それほど北方資料室を理解していたとは言えませんでした。図書館が江別に移転して6年目位の時で、岡原正司（初代）室長のもとで、『北の資料』でのコレクションの紹介、北海道史研究協議会の先生達が出入りするところなどを目の当たりにして、北方資料室の熱気を感じる事が出来ました。資料のマイクロ化は、地下の部屋に設置された大きな撮影機械で行われていました。北方資料室で所蔵する河野文庫など様々の貴重な資料群は、先輩達の努力の賜物だと、改めて思います。

2回目の北方資料室は、直接貸出をしていない、ある意味で昔の大らかな時代（世の中全体がそうであったかもしれません）とは違っていました。道の行財政改革ということで、本庁からは毎年の予算削減や職員定数減、指定管理者や業務委託の検討を求められたのは、皆さんもご存知のとおりです。その厳しい条件の中で実現できた北方資料デジタル・ライブラリーですが、最近久しぶりに図書館のホームページを見て、デジタル・ライブラリーが更に進化していることを知りました。皆さんの努力に敬意を表します。

現在、私は、江別の視覚障害者向けに朗読サービスを行うボランティア団体に参加しています。団体の活動は、江別市情報図書館の中の朗読室・ボランティア室を拠点に行っており、何かを調べたりする時に情報図書館は欠かせない身近な存在になっています。

最近「公立図書館の「民間委託」」と題する新聞記事を見ました。通称「ツタヤ図書館」をめぐる、立場の異なる2人の識者が意見を述べていました。その中で、塩見昇さん（日本図書館協会前理事長）が、「市民はいろんな目的で図書館を訪れますが、どこまで図書館がその要望に応えられるか。目新しさではなく、これが基本ではないでしょうか」と話しています。今の時代の図書館を取り巻く環境は、非常に厳しいものがありますが、道内公共図書館のネットワークの要として、ますますその役割が求められるものと思います。この基本を忘れずに、役に立つ図書館を目指して下さい。そして健康に留意して業務に励んで下さい。

<sup>1</sup>現在の企画支援課

<sup>2</sup>住民にとってもっとも身近な自治体である市区町村による図書館サービスを背後から援助するために「図書館の図書館」として機能する都道府県立図書館のことをいう。

## 平成27年度図書館地区別（北日本）研修

主催 文部科学省 北海道教育委員会 主管 北海道立図書館

## 【日程・会場】

平成27年11月24日（火）～27日（金） 札幌市中央図書館 講堂

## 【第1日目】 11月24日（火）

13:00 13:30 13:45 14:15 14:30 16:30

	受付	開講式	文科省 行政説明	基調講演 これからの図書館を考える 筑波大学名誉教授 葉袋 秀樹氏
--	----	-----	-------------	---

## 【第2日目】 11月25日（水）

9:30 11:00 11:10 12:00 13:00 15:05 15:20 16:30

講義① ビジネス支援に学ぶこれからの図書館サービスの方向性 北海学園大学非常勤講師 豊田 恭子氏	事例発表① 課題解決を支援する図書館—紫波町図書館の新しい役割— 岩手県紫波町図書館長 工藤 巧氏	昼食・休憩	講義② 役立つ図書館をアピールするレファレンスサービス 明治大学文学部教授 齋藤 泰則氏	講義③ 超高齢社会の図書館サービス 筑波大学教授 溝上 智恵子氏
--	---	-------	--	--

## 【第3日目】 11月26日（木）

9:30 10:30 10:40 12:00 13:00 14:30 14:45 16:30

講義④ 北海道のデジタル出版について 北海道デジタル出版推進協会代表理事 林下 英二氏	事例発表② 札幌市図書館の取組に学ぶ 札幌市中央図書館利用サービス課都心図書館担当係長 浅野 隆夫氏	施設見学 札幌市中央図書館	昼食・休憩	講義⑤ 図書館ブランディング入門—逆風の中で存在感を高める地域内連携作戦づくり— 図書館サービス計画研究所代表 仁上 幸治氏	グループワーク 自館のブランディング—地域内関係再構築作戦の立案—
---	--	------------------	-------	--	--------------------------------------

## 【第4日目】 11月27日（金）

9:30 11:00 11:10 12:10 12:20

講義⑥ 学校図書館と公立図書館の連携 北海道教育大学非常勤講師 大久保 雅人氏	講義⑦ 地域社会の復興に図書館ができること 北海道ブックシェアリング代表 荒井 宏明氏	閉講式
---	---	-----

## 【 内 容 】

本研修は、文部科学省が毎年全国6ブロック（北日本、関東・甲信越静、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州・沖縄）で実施し、図書館法第7条の規定に基づき、情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について中堅の司書としての力量を高めることが目的の研修です。

平成27年度の北日本地区では、北海道教育委員会が文部科学省の委嘱を受け、北海道立図書館が主管となり、札幌市中央図書館を会場に4日間の日程で実施しました。参加人数は、のべ87名になりました。

全体としては、『図書館の設置及び運営の望ましい基準』についての理解を深め、それを中堅職員として各自自治体における図書館運営にどのように活かしていくかということを中心に大きなテーマとしました。

各講義や事例発表の中では、図書館から住民、連携先への積極的な働きかけが、今後の図書館活動の中で重要であるということが繰り返し語られ、受講者の研修レポートの中でも印象深いこととして取り上げられていました。また、実践的なブランディングの手法について、グループワークでアイデアを出し、情報交換を行ったことが人的ネットワークの広がりにも繋がったようでした。

北日本地区の研修として、東日本大震災復興に果たす図書館の役割についての講義は欠かせない内容であり、現地の様子や要望等がリアルに伝わる講義を受け、今後も北日本地区の仲間として復興へ力を合わせる意識を強くする内容でした。

（企画支援課）



## 平成27年度全道図書館中堅職員研修会

道内各公立図書館、公民館図書室等に勤務する中堅職員に対し、図書館経営・企画能力の向上、変化する図書館ニーズに対応できるスキルの習得を図ることを目的に、毎年研修会を開催しています。今年度は、高度化・多様化する利用者の要望への対応や、住民の学習活動を支援する機能の充実のため、「あらゆる利用に向けたサービス」をキーワードに、障がい者サービス、児童サービス、資料提供のためのレファレンス、図書館の「見える化」を目指す広報について理解を深める内容とし、講義やグループワークなどを行いました。

障がい者サービスに関する「サピエ」やDAISYについての具体的な講義や、ブックトークの実践的な方法などについて理解が深まったと好評でした。



- 期 日：7月9日（木）～10日（金）
- 会 場：北海道立図書館
- 参加人数：25名
- 日 程：

### 【1日目】

講義「障害者サービス 読書のバリアフリーを目指すために」

北海道点字図書館点字指導員 南部 慶太 氏

講義・実演「ブックトークをやってみよう ～子どもと本の楽しい出会い～」

芦別市立図書館管理係長 藤田 伊津子 氏

「サピエ」の紹介

### 【2日目】

講義「あの本はどこにある？ ～資料提供とデータベースのキホン～」

北海道立図書館利用サービス課企画主幹（レファレンス） 一戸 泰  
主査 須之内 美智代

講義「新たな利用者を獲得するために ～広報のあり方から考える～」

北海道立図書館利用サービス課長 宮本 浩

事例紹介「北海道の地域資料デジタルアーカイブ」

北海道立図書館北方資料課主査 工藤 嘉一

情報交換「これからの図書館に求められているもの」

北海道立図書館企画支援課主任 西岡 祐子

### ■事後アンケートから

- ・ブックトークは、紹介する本の合間をつなぐための小物をつかった技などが参考になった。
  - ・「サピエ」について、導入を検討するにあたって内容がわかった。費用や、協力いただいているボランティア団体との関係などを踏まえて前向きに検討したい。
  - ・普段行なっている業務に関する講義でも、あらためて利用者の立場に立つことを意識するきっかけとなった。
- （企画支援課）

## 平成27年度全道図書館専門研修

### 【子ども読書】

○期日：平成28年1月13日（水） ○会場：恵庭市立図書館 ○参加人数：49名

○内容：

行政説明「子ども読書の現状と北海道教育委員会における取組」

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課社会教育・読書推進グループ 主査 湊秀樹氏

事例発表①「学校司書が配置されて～松前町の場合～」 松前町立松城小学校 学校司書 油野桂子氏

事例発表②「恵庭市立図書館と学校図書館との連携」 恵庭市立図書館 読書推進担当主査 黒氏優子氏

事例発表③「恵庭市立柏小実践」 恵庭市立柏小学校 司書教諭 三浦恵子氏

グループワーク「学校に頼られる図書館（室）になる！」

進行：北海道立図書館 総務企画部企画支援課企画主幹（子ども読書） 中田こずえ

「今こそ公立図書館（公民館図書室）と学校との連携を」をテーマに、公立図書館司書、司書教諭、そして学校司書の三者の立場から事例発表を行いました。公立図書館からは、状況を把握しにくい授業における本の活用の実態や学校のニーズについて知る機会となりました。参加者49名のうち教職員など学校関係者が11名であり、グループワークでは、学校現場のようすを聞くことにより、今後の連携の具体的なイメージの参考になったようです。

事後課題は“図書館と学校との連携を今後どのように進めていきたいか”をまとめるものでした。研修により、取組の周知不足、需要とのミスマッチなどの課題が見えたことから、「交流の場を設け、お互いの活動内容や組織について理解し合い、環境整備や仕組づくりを」「学校からの『要望待ち』ではなく、図書館側から積極的な提案を」さらには、「学校と図書館が双方で学び合う機会を地方でも持てるような組織づくりができないか」など、共通認識を持つ場の必要性を多くの人があげました。また、団体貸出の搬送方法など、既存事業の改善案を具体的にあげる受講生も見られました。

### 【地域資料】

○期日：平成27年12月3日（木） ○会場：市立釧路図書館 ○参加人数：19名

○内容：

事例紹介「市立釧路図書館のデジタルアーカイブ作戦」 市立釧路図書館長 新谷良文氏

講義「小規模図書館でもできる！地域資料のデジタル化」 北海道立図書館北方資料課主査 工藤嘉一

情報交換「もし、あの地域資料がデジタル化できたら！ーわか町でデジタル化すると役立つ資料はー」

進行：北海道立図書館 総務企画部企画支援課長 桑原裕子

「地域資料の保存と活用ーデジタル資料で地域を活性化しようー」をテーマに、市立釧路図書館が取り組んだ『永保保秀二郎日誌』翻刻データ、『アイヌの雑録』のデジタル化とシステム搭載の事例などが紹介されました。図書館の事業を、釧路市「釧路が誇る文化遺産活用事業」の一環として組み込んでもらい、文化庁「文化遺産を活用した地域活性化事業」に申請したことや、図書館振興財団提案型助成への申請など具体的な資金調達についても話を聞くことができ、受講者からは、今後役に立つと好評でした。「小規模図書館でもできる！地域資料のデジタル化」の講義では、自館の地域資料把握の必要性やデジタル化機能がある身近な機器の情報、デジタル化する際の権利関係についてなどの講義がありました。情報交換では、お互いの地域資料の所蔵状況やデジタル化のアイデアなどについて活発な意見交換がなされました。

（企画支援課）

## 市町村図書館職員レファレンス体験研修

平成13年度に始まった「レファレンス体験研修（略称「レファ研」）」は、事典や辞書、統計書、白書、ハンドブックなど道立図書館が持つ豊富なレファレンス資料を使いながら、少人数（ほとんどが1、2名）で行うレファレンス業務に特化したミニミニ研修です。当館のレファレンス担当者が講師を務める関係で、レファレンス業務の合間を縫った研修日程により、年に数市町村しか研修のご依頼をお受けすることができないのが悩みのタネです。

それでも、15年目を迎えた今年は、ついに200名を超える修了者を送り出すことができ、まさに“継続は力なり”を地で行くうれしい年となりました。

今年度も、札幌市、石狩市、函館市、苫小牧市、浦幌町の5つの自治体の図書館職員が来館し受講されました。



200人目の修了者となった札幌市東札幌図書館の小山田さん(右)

平成27年度に実施した「市町村図書館職員レファレンス体験研修」から

- 石狩市民図書館（2名）11月20日（火） 1日

基礎から応用、地域資料のレファレンスまで研修を行いました。レファレンスインタビューの講義は、利用者視点でこれからの業務に取り組むきっかけ作りにもなりそうだとの感想も。

- 札幌市東札幌図書館（2名）12月2日（水） 12月16日（水） 2日間

2名の担当者が受講され、それぞれレファレンスの基礎と地域資料のレファレンスについて研修を行いました。地域資料の研修では、事典や辞書の類の参考資料が少ない中、どのように取り組むようにするのが良いのかといったヒントが得られたとのことでした。

- 浦幌町立図書館（1名） 1月26日（火）－27日（水） 2日間

- 苫小牧市立中央図書館（2名） 2月25日（木） 1日

(利用サービス課)

## 利用者向け講座

## ■「北海道立図書館書庫ツアー」

北海道立図書館では、普段は公開していない書庫を案内する「書庫ツアー」を毎年開催しています。平成27年度は道民カレッジ連携講座の一環として、5月3日（日・祝）、8月2日（日）に子ども向け、6月14日（日）、11月3日（火・祝）、に一般向けのツアーを行いました。

今年度の書庫ツアーは、昨年に続き、50年間にわたり栗田書店（現・栗田出版販売）から寄贈された資料群（栗田文庫）に焦点を当て、実際に参加者がそれらの資料を手にとって閲覧する時間を長くとりながら実施しました。栗田文庫には、昭和を彩る懐かしい図書や雑誌が数多く含まれています。参加者からは実際に手にとって本を見る時間を長くともらいたいという声が多く寄せられました。

また、6月14日（日）の書庫ツアーは初の試みとして、昭和史を振り返る上で「鉄道資料」を取り上げ、前半を資料の解説と紹介に充て、後半を鉄道関係に絞り込んだ書庫ツアーとして実際に資料に触れてもらい、定員20名のところ、25名の参加がありました。



北海道金融広報委員会（「知るぼると北海道」）の協力を受け、外部講師による講演を行いました。また、これに合わせて当館職員から、講演内容に関する資料の紹介を行いました。

### ■ シニアライフ図書館活用術

日時：平成27年10月4日（日） 14：00～16：00

会場：北海道立図書館研修室 参加者：28名

金融広報アドバイザーの須藤臣さんが「知っておきたいもともと老後の年金」と題した講演を行い、国民基礎年金と厚生年金に関する制度の基本的なしくみと、一般的な世帯における年金の受取額についてなどの情報提供を行いました。



### ■ 暮らしのあんしん図書館活用術

日時：平成27年10月25日（日） 14：00～16：00

会場：北海道立図書館研修室 参加者：10名



金融広報アドバイザーの鈴木亜津子さんが「消費者被害防止！見守り力をつけよう」と題して、高齢者の被害が拡大している実態を踏まえながら、被害に遭わないような個人の防止策と見守る側である周囲の人々の“気づき”について講演を行いました。

また、消費者被害に遭ってしまった場合のクーリングオフについて、実際に通告ハガキの書き方実習や、被害場面を想定した模擬寸劇（ロールプレイング）を参加者全員で行いました。

これまで図書館ではあまり行わなかった、シニア対象、身近な社会問題に関する講演であり、初めて参加しました、という感想が多かったのが印象的でした。

（利用サービス課）

## ■ 書庫ツアー「北方資料室書庫探見 ～炭鉱（ヤマ）～」

日時：平成27年9月12日（土） 14:00～16:00

会場：北海道立図書館研修室、第一書庫 参加者：24名

今回は、これまで要望の多かった「炭鉱」をテーマに開催しました。ツアーでは、北方資料の概要や炭鉱について調べる際のポイント等を説明した後、関係資料と書庫を案内しました。参加者からは、紹介した資料の歴史的背景や炭鉱について質問が出たり、資料を見て昔を懐かしむ場面が見られました。

また、ツアー後のアンケートは概ね好評で、「大変楽しかった」「説明がわかりやすくて良かった」等の感想が多く聞かれました。



## ■ 第16回資料で語る北海道の歴史講演会「北海道史の『偽書』を読む」

日時：平成27年11月14日（土） 14:00～16:00

会場：江別市野幌公民館研修室 参加者：51名

北海道史研究協議会の協力により、同会会長の田端宏氏を講師に迎え、開催しました。

講演は、知内町にある北海道最古の神社・雷公神社に伝わる古文書『大野土佐日記』を題材に、他の文献記述との比較を行いつつ、その信頼性や史料から読み取れる作成の背景等についてお話しいただきました。

アンケートでは、「あまり取り上げられないテーマで貴重な話が聞けて良かった」「歴史の事実を検証することの面白さが伝わった」等の感想が聞かれ、講演が興味深いものであったことがうかがえました。



(北方資料課)

## 展示を振り返って

### 【一般資料】

本は単なる「モノ」ではなく、生きるための知恵や人類の英知を内包しているものといわれます。

図書館の本は日常的に分類して本を並べることで、利用者が求める本を手に取りやすいようにしていますが、発行年や形態等により書庫や異なる棚に収められているものがあります。これらの本を最大限に利用者に提供するためには、特定のテーマ（トピック）でまとめて展示することが効果的です。

今年度も一般資料の展示は、既設コーナーのほか閲覧室の特設コーナーにより、季節感や時宜を得た話題等テーマを工夫しながら【表】のとおり実施しました（平成28年1月現在）。

### 【表】

展示コーナー名	テーマ名	展示期間	
エントランス(1階)	・乱歩のススメ～江戸川乱歩没後50年	3月10日(火)～5月28日(木)	
	・ようこそ北へ 新幹線と歩んだ日本の半世紀	5月30日(土)～8月27日(木)	
	・赤塚不二夫の世界～赤塚不二夫生誕80周年～	9月1日(火)～11月26日(木)	
窓辺の本棚(一般資料閲覧室)	・がんばれ若者、新入社員！	4月1日(水)～4月29日(水)	
	・旅に出よう！	5月1日(金)～5月28日(木)	
	・楽しみながら環境行動！	6月2日(火)～6月28日(日)	
	・ワーク・ライフ・バランスを考える	7月1日(水)～7月30日(木)	
	・山の魅力、再発見。	8月1日(土)～8月27日(木)	
	・身近な食べもの・飲みもの	8月29日(土)～9月29日(火)	
	・出会い・結婚&子育て	10月1日(木)～11月8日(日)	
	・ちがった目線でみてみよう	11月10日(火)～12月24日(木)	
	・冬を楽しもう	1月5日(火)～1月28日(木)	
	児童コーナー(1階)	・新学期だ！フムフム、わくわく、まなぶっく！	3月11日(水)～4月29日(水)
・もののけ・あやかし大集合		5月1日(金)～5月28日(日)	
・もう読んだ？ 小学生に人気のシリーズ本特集		7月1日(水)～8月27日(木)	
・名たんてい対大どろぼう		8月29日(土)～11月26日(木)	
・読んでほしい、200冊をあなたに。		12月1日(火)～1月28日(木)	
特設展示(一般資料閲覧室)	・どさんこアウトメディアプロジェクト ～第1・3日曜日はノーゲームデー～	1月24日(土)～5月28日(金)	
	・乱歩のススメ おすすめ本	3月10日(火)～5月28日(木)	
	・今しか読めない本がある 青春は読書と共に。～高校生向けおすすめ本～	11月29日(火)～5月28日(木)	
	・【平凡社100周年記念】『別冊太陽』の世界	7月11日(土)～9月29日(火)	
	・新たに収集しました！	6月5日(金)～8月30日(日)	
	・敬老の日 読書のすすめ2015	8月29日(土)～10月29日(木)	
	・優雅な大人女子	10月14日(水)～11月26日(木)	
	・ボランティアさんのおすすめ本	10月1日(木)～11月10日(火)	
	・実践！ オヤジの極意	10月31日(土)～12月27日(日)	
	・蔵出し文庫コーナー〈時代小説〉	11月29日(火)～ 開催中	
	・蔵出し文庫コーナー〈推理小説〉	1月5日(火)～ 開催中	
	特設展示(児童コーナー)	・外国語のえほんコーナー	9月1日(火)～ 開催中
		・五味太郎展	10月27日(火)～11月26日(木)
特設展示(研修室)	・「大型絵本100」こどもの読書週間	4月21日(火)～5月12日(火)	

企画したテーマは、利用者が興味・関心を持つトピックばかりでなく、作家や作品をモチーフにしたもの、道や道教委の施策に合わせたものなどがあります。

ボランティアさんや司書資格取得のために実習にきた学生さんとの協働もありました。

また、所蔵資料の紹介にとどまらず、関係機関や団体からの協力を得てリーフレット等を配付し、関連情報を発信することができました。

展示した資料はリスト化してホームページ（「今月の展示・展示リスト」）に掲載しており、市町村立図書館（室）における資料展示や学校図書館の先生方の本選びにも役立てていただいています。

これからもより魅力的でバラエティに富んだ展示を開催していきます。

多くの方々が図書館資料を利用され、読書に親しみ日々の暮らしに役立てていただければ幸いです。



「名たんてい対大どろぼう」  
8月29日（土）～11月26日（木）



「ようこそ北へ 新幹線と歩んだ日本の半世紀」  
5月30日（土）～8月27日（木）

（利用サービス課）

## 【北方資料】

北方資料室では計14回の資料展示を予定し、様々なテーマで北方資料を紹介しました。関連機関と連携することで、より充実した内容の展示となりました。また、ミニ展示ではその時々利用者の関心のあるテーマや人気のジャンルの資料を集め、積極的に資料を活用してもらうよう企画しました。終了した展示は以下の通りです。

### ■北方資料展示コーナー

道の駅へ行こう！	4月22日～6月28日
蝦夷共和国幻想 ～土方歳三と箱館戦争～	7月1日～9月29日
知れば知るほど、北海道米	10月1日～12月24日
北海道おもしろ番付 ～ランキングに見る今昔～	12月26日～2月14日

### ■北方資料室内ミニ展示コーナー

いきものたちの365日～どうぶつたちの生きる姿～	4月7日～5月10日
さあ、出かけましょう♪	5月12日～6月28日
北へ ～土方歳三と彼を取り巻く小説特集～	7月1日～9月29日
いただきます・ごちそうさま	10月1日～10月29日
北海道ミステリをどうぞ	10月31日～12月19日
宇江佐真理追悼特集	11月10日～12月27日
冬を楽しむ	12月20日～2月25日



「蝦夷共和国幻想 ～土方歳三と箱館戦争～」



「知れば知るほど、北海道米」

(北方資料課)

## 平成27年度北海道立図書館協議会

今年度の協議会は、次のとおり開催しました。

- ・ 第1回 平成27年 7月23日(木) 北海道立図書館会議室 出席委員 8名  
議題1 平成26年度業務実績について  
その他
- ・ 第2回 平成27年11月17日(火) 北海道立図書館会議室 出席委員 8名  
議題1 平成27年度の活動状況について  
その他
- ・ 第3回 平成28年 3月15日(火) 北海道立図書館会議室  
議題1 「平成28年度北海道立図書館運営計画(案)」について  
その他

■ 平成28年度は図書館協議会委員の改選期にあたります。委員の交代は、平成28年11月1日を予定しています。詳しい内容が決まりましたら、ホームページや報道機関等を通じてお知らせします。

■ 協議会に関する情報をホームページに掲載していますので、是非、ご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>

トップページ>道立図書館について>道立図書館協議会

(管理課)

## 仮設運営 11 年間の後、待望の新館オープン 新ひだか町図書館

新ひだか町図書館 主幹 村田 美穂

新ひだか町は、今年で誕生 10 周年を迎えます。日高振興局管内のほぼ中央に位置し、旧静内町と旧三石町が合併し、平成 18 年 3 月に誕生しました。現在人口は約 2 万 4 千人です。

新町誕生から遡ること約 3 年。平成 15 年 9 月 26 日早朝に発生した十勝沖地震により、震度 6 弱の強い揺れにみまわれ、昭和 49 年から町民に親しまれていた文化センターと併設の静内町図書館は崩壊しました。2 か月後、町有の他施設内に間借りする形で運営を再開し、以来 11 年間仮設図書館として運営を続けました。

狭い、暗い、閲覧席がほとんどない・・・数え上げればきりがないうほどのご不便を利用者の皆様に強いてきましたが、国の社会資本整備総合交付金等を財源に、崩壊以来取り壊すこともできずに残っていた文化センター等の撤去、跡地利用と併せて、新図書館の建設がかなうこととなり、老朽化が進んでいた静内郷土館（現新ひだか町博物館）と合築で、平成 25 年 6 月に着工し、平成 26 年 11 月に竣工（外構は翌 12 月竣工）いたしました。



建設に先駆けて、町民有識者 15 名からなる図書館・郷土館建設検討委員会を発足（任期 H23.2～H25.1）。先進地視察の実施も含め新館のコンセプト等検討を重ね、「新ひだか町図書館・郷土館基本構想（案）」及び「配置計画（案）」について、教育委員会へ提言を行いました。提言には「新ひだか町図書館・郷土館建設に係るアンケート調査」（実施期間 H23.5～6）の結果も反映し、町民・利用者の声を取り入れています。

延床面積約 2,860 m<sup>2</sup>（図書館部分約 1,430 m<sup>2</sup>）、所蔵可能冊数 12 万冊（開架 9 万、閉架 3 万）、直射日光、西日を避けるため、南側のほとんどをバックヤードとし、前述のアンケ

ート調査でももっとも要望の高かった、「ゆっくり本等を読めるスペース」を備えました。「知りたい」「読みたい」「楽しみたい」図書館」をコンセプトに、どなたでも気軽に利用できるユニバーサルデザインに留意した建物となっています。また、地震の多い土地柄でもあることから、書棚はもちろん建物全体の強度もアップさせ、利用者の安全確保に努めています。

供用開始前に町内外の関係者を招いて内覧会を行い、平成27年4月5日開館記念式典挙行後、午前11時にオープンいたしました。オープン初日に1,500名を超す来館者があり、いかに町民の皆様が待ち望んでいたか、職員一同思い知らされる1日となりました。



たか、職員一同思い知らされる1日となりました。

道立図書館よりしかけ絵本を借り受け開館記念展示を行ったところお子様たち大変喜ばれ、約1か月後展示替えを行った時には「(絵本が)ないっ!」という悲痛な叫びが聞こえたほどです。



新館オープンと同時に図書館システムも刷新し、WebOPACをはじめとするインターネットサービスをオープン翌月の5月から開始。また、これも要望の高かった開館時間の延長について、6月から週1日(平日火曜日)午後8時まで夜間開館試行という形で行っています。

今後も利用者の皆様に喜んでいただけるよう、職員一丸となってサービスの充実に努めて参ります。

道立図書館をはじめ、道内外の図書館(様)には資料提供等大変ご助力を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。お近くにお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

## 公民館図書室から生涯学習センターぽろろ図書室に

南幌町教育委員会生涯学習課社会教育グループ 主任 須藤 秀康

昭和49年の開館から40年に渡り、町民に親しまれた南幌町公民館図書室が旧南幌小学校を改修した生涯学習センターぽろろ図書室に移転し、平成27年4月1日にオープンしました。



生涯学習の拠点を目指したこの施設は、1階は図書室、2階は郷土資料室、3階は公民館機能を兼ね備えています。

図書室のオープンにあたって、室内のレイアウト、図書館システムの導入、図書室の運営等について道立図書館から助言を頂きました。また、図書館システムの導入に向けて書誌データの作成も行いました。多くの課題がありましたが、完成に向けて準備が進み、4月に予定どおりオープニングセレモニーを開くことができました。

図書室は次のとおり部屋を設け、スペースは公民館図書室の3倍に広がりました。

### 児童図書室 1

実用書や調べもの、絵本コーナーを設置し、靴を脱いでくつろいだ体勢で読書が楽しめます。このコーナーで絵本の読み聞かせを行います。受付カウンターもこの部屋にあります。



## 児童図書室 2

児童文学を中心にコミック本を配架しています。

## 一般図書室 1

実用書と文学、文庫本、大活字本を配架しています。

## 一般図書室 2

郷土資料をはじめ、レファレンス、雑誌、新聞を配架しています。

AVコーナーを2ブース設け、4名の視聴が可能です。

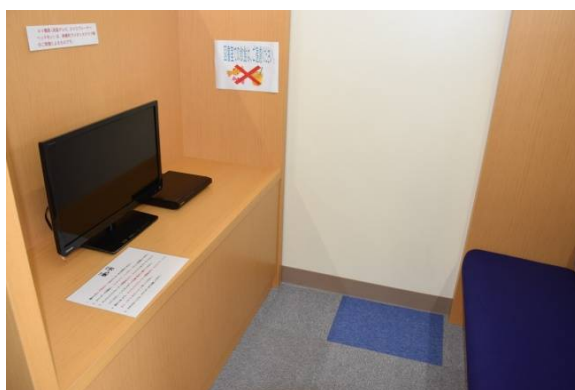
レファレンスルームは、閲覧席を12席設け、学習の場として利用されています。

現在、蔵書冊数は約33,000冊ですが、5年間で約54,000冊の蔵書を目指しています。

開館時間は午前10時から午後5時まで、毎週火・金曜日は午後8時まで開館し、オープンしてから5か月が経過して利用者数も例年の2倍以上に増加しました。

7月から図書館システムが稼働し、OPACによる蔵書検索やインターネットによる予約も行うことができます。

今後は新規事業を展開し、より多くの町民に利用される図書館を目指したいと思います。



## 平成28年度 事業計画

月	上 旬	中 旬	下 旬
4			北図振 第1回理事会・総会 (21日 札幌市) 子ども読書の日 (23日) こどもの読書週間 (4/23~5/12) 日図協 図書館記念日 (30日)
5	日図協 図書館振興の月	北学図 定期総会 (7日 札幌市)	北読進協 総会 (札幌市) 日図協 第1回理事会 (27日 東京都) 全公図 第1回理事会 (31日 東京都)
6	北図振 全道図書館新任職員研修会 (2~3日 当館) 書庫ツアー (北方)	日図協 公共図書館部会総会、 代議員総会 (17日 東京都)	北日図連 総会・第1回理事会 (23日 山形市) 北日図連 北日本図書館大会 (23~24日 山形市) 第1回北海道図書館連絡会議
7	北図振 全道図書館中堅職員研修会 (7~8日 当館) 全公図 定期総会 (8日 東京都) 北図振 管内図書館振興協議会等地方研究集会 (7~2月 各管内で開催)	第1回北海道立図書館協議会	学校図書館向け講座 創設90周年記念事業 北図振 「北海道図書館職員録」発行
8			
9	北図振 北海道図書館大会 (8~9日 札幌市) 書庫ツアー (北方)		北日図連 北日図連研究協議会 (29~30日 青森市)
10	全道図書館サービス研修 (当館)	日図協 全国図書館大会 (16日 東京都)	読書週間 (10/27~11/9) 文字・活字文化の日 (27日) 北読進協 優良読書グループ表彰 北図振 「北海道の図書館-平成28年4月現在-」 発行
11	北図振 第2回理事会全道図書館長会議 (10日 札幌市)	第2回北海道立図書館協議会	北図振 全道図書館専門研修 (サービス/資料保存) (稚内市) 第2回北海道図書館連絡会議
12	北学図 青少年読書感想文全道コンクール及び北海道指定図書読書感想文コンクール (4日 札幌市)	北図振 専門研修 (経営/関係法規) (函館市)	
1	北学図 北海道学校図書館研修講座 (9~11日 札幌市) 学校図書館向け講座		北図振 専門研修 (サービス/地域資料) (当館) 日図協 全国公共図書館研究集会総合・経営・サービス部門 (北九州市) 全公図 第2回理事会 (書面)
2		北図振 専門研修 (子ども読書/地域支援) (当館)	北日図連 第2回理事会 (書面)
3		第3回北海道立図書館協議会	

※ 上記の日程は変更になる場合があります。

<凡例>

- ・北図振・・・北海道図書館振興協議会 ・北日図連・・・北日本図書館連盟 ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
- ・北学図・・・北海道学校図書館協会 ・日図協・・・日本図書館協会 ・全公図・・・全国公共図書館協議会

平成27年度  
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰

北海道読書推進運動協議会

(公社)読書推進運動協議会では、「読書週間」事業のひとつとして、全国優良読書グループ表彰を実施しています。北海道読書推進運動協議会においては、全国表彰への推薦と合わせて、独自に北海道表彰を行っており、次の皆様が受賞されました。

**全国表彰（1団体）**

- 絵本サークルポポリン 江差町 平成元年設立

**北海道表彰（5団体）**

- 栗の子童話会 栗山町 昭和59年設立
- 図書館大好きの会 岩見沢市 平成12年設立
- 大江読書会 仁木町 平成2年設立
- 大型紙芝居じゃがいもの花 今金町 平成9年設立
- 人形劇サークルぱんぷきん 佐呂間町 昭和59年設立

**受賞グループの詳細について**

北海道読書推進運動協議会が発行している『北読進協だより』第27号に、受賞グループの寄稿文が掲載されています。

『北読進協だより』は北海道立図書館ホームページからご覧いただけます。

北海道立図書館ホームページトップ>関係団体等>北海道読書推進運動協議会

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/qulnh00000000eww.html>

(企画支援課)



2015・第69回読書週間ポスターと標語ロゴマーク

(公益社団法人読書推進運動協議会)

## 掲 示 板

### <インターネット予約貸出サービスの貸出冊数を拡大しました>

平成27年11月17日（火）から、インターネットによる予約の上限を5冊から10冊に拡大しました。（道立図書館に来館して申し込む予約・リクエスト・他館借受の申込みについては、従来通り5冊までです。）

これに伴い、貸出冊数も5冊から10冊に拡大となります。

### <職員人事異動>

新採用 平成27年10月1日付け

利用サービス課主事 須田 希

北方資料課主事 中野 瑛介

館内異動 平成27年10月1日付け

資料課主任 阿部 かおり（利用サービス課主任から）

退職 平成28年2月25日付け

館長 林 秀樹

（平成28年2月26日付け 北海道立図書館長事務代理 北海道立図書館副館長 村田 智己）

### 北海道立図書館報 第200号

平成28年 3月9日 発行

北海道立図書館長事務代理 北海道立図書館副館長 村田 智己

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL：011-386-8521（代 表）

ダイヤルイン

386-8531（総務企画部）

386-8522（利用サービス部）

386-8523（北方資料室）

FAX：011-386-6906

E-mail：support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ：http://www.library.pref.hokkaido.jp